

かみ

議会だより

令和元年
12月定例会
第60号

息を合わせて!

ふるさとおもしろ塾
「かるた・もちつき大会」
“奥佐津公民館にて”

— CONTENTS —

- 新年のあいさつ（議長） 2
- 新議員の抱負＆紹介 2
- 補正予算 3
- 請願・意見書 5
- 町政を問う（15人が一般質問） 6～13
- 視察研修報告 14～15
- この人ここにあり 16

議会が変われば 町が変わる



議長
西川 誠一

町民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
現在議会は、昨年の11月に行われました補欠選挙により新議員3人を加え、定員16人での活発な

議論のもと議会活動を行っています。

また、先定例会に於きまして『議会のあり方等調査特別委員会』を設置し、今年は委員会を中心に議員定数、議員報酬額をはじめ議員、議会の環境整備についても熱心な議論を行うこととしています。

過疎化、人口減少、産業の衰退など問題、課題が山積する町であっても、議会が町民に寄り添い、町民の声を十分にくみ取ることにより二元代表制の本来ある姿を取り戻すことができる、活発な議論が展開され問題解決の糸口が見いだされることと信じています。

今年も「議会が活力を失えば町も活力を失う」という信念を心に刻みながら開かれた議会を目指し、町民の代表であることの自覚と気概で議会を運営してまいります。

町民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

議長

西川 誠一

副議長

藤井 昌彦

議員

東垣 典雄

谷口 眞治

上田 勝幸

小谷 康仁

西谷 尚

見塚 修

田野 公大

岸本 正人

山本 賢司

吉川 康治

西坂 秀美

西谷 高弘

徳田 喜代子

森浦 繁

(議席順)

新議員抱負&紹介

昨年11月の補欠選挙で就任した3名の新議員を紹介します。

氏名

年齢 住所

党派 当選回数

所属委員会

※掲載は議席順、敬称略



小谷 康仁

57歳 村岡区八井谷
無所属 1回

総務民生常任委員会

① ジョギング、歴史探索

② 努力は美德

③ 地域医療と生活を守る

(医療) 有れば便利な

医療から、無くてはな

らない医療体制の構築

(教育) 地域を愛する

心の醸成と学力の向上

吉川 康治

34歳 香住区下浜
無所属 1回

総務民生常任委員会

① 戦国時代の遺構巡り

② こけたら立ちなはれ

③ 香美町活性化！

産業支援、地域医療連

携、獣害対策、人口対

策、観光強化を中心に

一つずつスピーディーに

取り組みます。



森浦 繁

60歳 香住区無南垣
無所属 1回

産業建設文教常任委員会

① スポーツ観戦

② 町民が主人公

③ 若者の定住

・高齢者が安心できる

町づくり

・医療・福祉の充実

国民宿舎事業特別会計補正

否決

令和元年度一般会計補正予算

総額2億2893万円の増額

12月定例議会には、一般会計・国民健康保険事業・介護保険事業特別会計・国民宿舎事業特別会計補正・公立香住病院事業企業会計・水道事業企業会計・下水道事業企業会計補正予算・猿尾滝遊歩道落石対策工事の請負契約締結の22議案が提案されました。

一般会計補正予算では歳入・歳出を2億2893万円追加増額して総額141億3615万円とするものです。

○国民宿舎事業
特別会計補正予算
質疑

問 国民宿舎営業終了、公社解散の直接の原因は運転資金の枯渇と説明があったが、なぜ資金繰りが見込めなくなったのか

答 公社設立以来、指定管理料の支払い、行政財産使用料を年々町に納めて頂く費用を免除したり、公社に使っていたいく費用を増やしたり、段階的に進めてきたが、今の状況では公社として今後運営が見込めないため、取締役会で廃業を決議されました。

問 運転資金1千万円が補てんされたら、こんな事態にならなかったのではないか。ある程度確保できたら返金していただくという選択肢はなかったのか

答 1千万円足りないからという話ではなく、近年資本金の2300万円も枯渇して資金の融通ができないということ、総合的に判断をされたということです。

先の改修費用7千万円をつぎ込んでいたのを将来、公社から町に納めていただくべきものも含めると負債額はまだ確定はしていませんが、相当の額になるかと思えます。



国民宿舎 ファミリーイン今子浦

問 2月以降は直営とのことだが、町がこれまで通り国民宿舎を開いて、お客様を迎えるということなのか

答 直営とは、次の事業者が見つかるまでの間、町の施設として人件費を計上して、清掃や給湯設備、エレベーター、照明器具の管理や今子浦グラウンドの管理を町が直接しなければならぬという意味での直営ということです。

問 38%の株主である町が全て持つわけだから、町民の血税を出すことになる。経営陣の責任はないのか

答 現行の経営陣の皆さんは取締役と言いつながら国民宿舎設立以来、運営を担ってきた株主の皆さんが大部分です。長い間、無給で取締役を務めていただいた性格上、また、それぞれ事業主の方が大の方で非常勤であり、大株主の皆さんですので、香住観光公社の解散ということ、出資分は失うことになるわけですから、今の役員の方々に何らかの形で経営責任を取っていただくということまでは考えておりません。

反対討論 見塚 修議員

12月4日の全員協議会の中で担当者から説明があり、公社が町に支払わなければならない3億3000万円が明らかになった。

今まで議会の中では先送りと説明をされてきた

ので、後に払ってもらえるものだった。

しかし、弁護士等の相談の結果、債務に当たらず返さなくてもいいと指摘され、町民に大きな血税を支出させたものである。また、今後営業をしないような事が強く感じられる観点から反対する。

賛成少数で否決

○一般会計補正予算

質疑

問 公共施設等管理基金繰入金の関係で国民宿舎の修繕の減額は今後どうなるのか

答 本年度は適当な修繕時期がなかったため取り下げにしたが、今後再開までに期間を見計らい、必要最低限度のエレベーター、浴室等の修繕を行います。

賛成多数で可決

条例

香美町一般職の職員の給与に関する条例及び香美町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例改正

令和元年8月7日の人事院勧告による町職員の給与を0.1%引上げ、期末・勤勉手当を0.05月引上げる条例改正

全員賛成で可決

香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正

議員の期末手当を年間0.05月分引上げる条例改正

質疑

問 議員、町長、副町長、教育長の手当ての引上げは、どこで検討したのか
答 検討はしていません。

反対討論

山本 賢司 議員

議員報酬の引上げを検討せずに人勧に基づく提

案では、増税・負担増に苦しんでいる町民の理解は得られない。

賛成多数で可決

香美町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例改正

町長・副町長・教育長の期末手当を年間0.05月分引上げる条例改正

反対討論

山本 賢司 議員

町長・副町長・教育長の手当てを特に検討せず人勧に基づく提案では、増税・負担増に苦しんでいる町民の理解は得られない。

賛成多数で可決

香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例改正

町・国・県が行う急傾斜・農業土木事業の受益者分担金を徴収する条例改正

質疑

問 急傾斜と同じ治山事業との整理はできているか
答 検討中です。

問 災害の補助残について起債事業を活用しているか
答 活用していません。

継続審査

継続審査を産業建設文教常任委員会に付託する動議を全員賛成で可決しました。

その他の条例

・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

・香美町総合計画審議会設置条例改正

・香美町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例改正

・香美町公益法人等への

職員の派遣等に関する条例改正

全員賛成で可決

契約

どうなる？矢田川クリーンセンター跡地！

矢田川クリーンセンター解体撤去工事

質疑

問 土壌が汚染された駐車場跡地をアスファルト舗装しバリケードで立ち入り禁止にすることについて、地元の理解は。不法投棄ではないか。跡地利用はどうか
答 地元理解は得られ、不法投棄には当たらず、特に跡地使用目的は定めていません。

反対討論

谷口 眞治 議員

汚染された土壌を塩漬けにすることは、土壌汚染団地化することになる。

土壌を入れ替え、幅広く使えるようにすべきだ。

賛成多数で可決



矢田川クリーンセンター跡地

待ちに待った！
猿尾滝落石対策
工事契約！



名勝 猿尾滝（日本の滝百選）

平成25年猿尾滝落石で観光客の怪我により町は安全対策として上段の滝壺までの遊歩道を通行止めとしていた。

猿尾滝遊歩道落石対策工事

質疑

問 何故発注が遅れたのか、また、工期が令和2年3月31日とあるが、積雪や資材の調達困難により更に遅れるのではないかと

答 本事業は環境省の自然環境整備交付金事業を財源としており交付決定が6月21日で事前工事着手ができませんでした。降雪、資材調達の不調等で完成が遅れる可能性があり、工期延長も視野にいれています。

全員賛成で可決

どうなる 香住・村岡病院!!

請願・意見書

請願 「国の病床削減・再編統合」撤回

賛成少数で
不採択

意見書 「再編統合」抗議

賛成多数で
継続審査

請願

国の病床削減・「再編統合」の再検討を促す動きを取りやめ、病院を安定的に運営できる医療政策を求める請願

請願者

地域医療をまもる但馬の会

代表

西垣 栄

紹介議員

山本賢司

請願の趣旨

国は病床削減のため「再編統合」の再検討を促すとして424の公立・公的病院を公表し、公立香住病院と公立村岡病院の名があがっています。

(1) 国の病床削減・「再編統合」を求める公立病院名公表の撤回

(2) 医師不足により病院の経営が困難になるケースもあり、大学医学部の定数増や医師不

意見書

「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の堅持を求める意見書

提出者

香美町総務民生常任委員

賛成者

同右

藤井昌彦

意見書の趣旨

病院名の公表で町民は不安を感じています。香住・村岡両病院は地域医療の最後の砦として町民が安心できる重要な医療提供の役割をになっています。

1. 全国一律の基準でなく、地域の実情を踏まえ、各医療機関の取組みにも配慮すること

2. 医師・医療スタッフの確保、偏在対策の実効性や即効性を確保するなど、制度的、財政的支援をはじめ、地域医療のための必要な措置の充実を図ること

人事

監査委員

次の方を監査委員として選任することに同意しました。

香美町村岡区大笹
1006番地

たなべ ふみお
田邊 文夫 さん

(任期)

令和2年1月31日から
4年間



質疑

問 財政計画の中で地方交付税で平成30年度まで

■新町まちづくり計画期間を令和7年度まで5年延長
本計画は合併に際し、新町のまちづくりを総合的かつ効果的に進めることを目的として策定されたもので、合併特例債などの国の財政支援を受けるための基礎となるものです。合併特例債は、建設事業の事業費の95%まで借り入れができ、この元利償還金の70%が地方交付税として措置されるものです。

■過疎地域自立促進計画に香美町香住観光案内所建設事業を追加
これにより建設事業に過疎債が適用できます。

■過疎債と以降の見込額に乖離があるのはなぜか
答 地方交付税の内、特別交付税は年度に於ける特別な事情に於いて措置される不確定な性質のもので、それらの事情を勘案して予算しているため見込額に差があるものです。

町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月16日と17日に15人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



児童・生徒が一番大事



早く再開を！

ファミリーイン今子浦の再開は町内事業者を想定しています



西坂 秀美 議員

香住観光公社の業務停止の新聞報道以降、なぜとファミリーイン今子浦の閉館を惜しむ声が聞かえてきた。しかし議会への報告はなく12月4日にその説明を受けた。なぜ

この時点まで議会に報告しなかったのか、その理由は。解散には相当のエネルギーがいるとして町が事務的な役割を果たすと言うが今後どんな手続きが必要で、町がどんな支援をしていくのか、そのスケジュールと次の活用策を問う

町長 重大な事案でありましたが、日程調整が難航し議会への報告が遅

くなりました。公社は1月末まで営業を続け、営業停止とほぼ同時に開催する臨時株主総会での解散決議で公社は解散し、以後、清算業務が開始されます。その後、債務や債権の整理を経て清算が完了し、最短で4月末頃に終了する見込みです。町は最後の営業活動や清算に最大限の支援をし、今後の活用策は町内事業者を想定しております。

教育会議できちんと議論すべきだ 統廃合を協議する大事な会議です



岸本 正人 議員

各学校版教育環境会議では、学校存続統廃合問題の方向性を議論する場

でもある。アンケート結果が2/3以上統廃合が望ましいと判断した場合は、教育委員会は進めていくという仕組みがあるが、参加者にはほとんど理解されていないのでは。現実には学校運営に努力されている発表がほとんどだと思ふ。統廃合に

教育長 会議では自校の取り組みを説明した後、学校づくりができていくか等の議論をし、その上で統廃合について協議す

る時間を設定し、最後にアンケートで学校評価や統廃合の回答を得るようになっています。統廃合に関し、協議する大事な会議でもあることを案内文書に明記させます。そして、より多くの保護者・地域の皆様がご参加いただけるよう、各学校をしっかりと指導してまいります。



年々増え続けるシカ

爆発的に増えるシカをどうするか 捕獲者の労力軽減で駆除数の拡大を



東垣 典雄 議員

有害獣の捕獲駆除を毎年相当な頭数で行っているが、特にシカの生息数

が美方郡を中心に増加していると思われる。

農業被害をはじめ、山林の下草を食べつくしており、森林生態系や河川の環境へ影響する心配がある。

またシカなど野生動物と衝突する交通事故が増加しており、農林被害だ

けでなく生活、観光にも影響してきている。

近隣市町との連携など広域的な対策が必要ではないか

町長 シカの捕獲頭数の拡大に向けて近隣市町との広域連携捕獲を進めることも重要なことです。

今年度、有害獣を仕留めた後、埋設処分などの労力の軽減と捕獲意欲向上の一助として一時保管施設「ストックポイント」を設置し猟友会の皆さんの負担軽減を図ってまいります。

来年度、できれば猟友会の皆さんの連絡調整役になるような人材の確保を検討してまいります。

負担金、分担金、補助金の見直しを!!

見直しの検討が必要と考えます



見塚 修 議員

- ①生活の利便性から3m以上が必要、地域の実情により再検討します。
- ②再検討します。
- ③内部で協議します。
- ④検討課題と思いますが、現行制度が基本です。
- ⑤公共的要素を現地調査し、検討します。

町民との協働による、まちの活力・安心・安全のため、負担金、分担金、補助金の見直しが必要な時期がきている。

①幅員3m未満の道路整備の負担金を0に。

町長 負担金、分担金は公益主義、補助金は公共性と共に有効性、公平性が重要です。



地元負担を0に③⑤





教育の取組も時代に合わせて大きく変わってきた

10月10日に香住小学校
英語教育・プログラミング教育の取り組みの説明



西谷 尚 議員

生徒一人一人に1台のパソコンを 国の計画の中で5年以内に充実図ります

と授業風景を見させて頂きました。その時、コンピュータを活用し、私たちの時代からすれば次世代の教育が取り組まれている感じがしました。現在、3人に1台のパソコンを配置とあるが、学年が違えば、パソコンを使うための時間割調整

が必要になる。国の制度も全国の生徒一人一人に1台のパソコンの普及を令和5年までにおこなう動きがある。敏速な対応を望む

【教育長】各小・中学校に配置しているパソコンは、学級使用においては足りています。しかし、今後は在籍する児童・生徒に一人1台ずつ行き渡る様な整備が、現在求められています。香美町におきましても、今後は、文科省及び国の方針に沿って計画的に、徐々に増やして行きたいと考えております。



国道482号安全、観光推進



藤井 昌彦 議員

国道482号安全、観光は？ 関係機関と協議します

国道482号について若桜町（鳥取県）から熱田出合までは比較的広いが、秋岡集落への道が狭い。

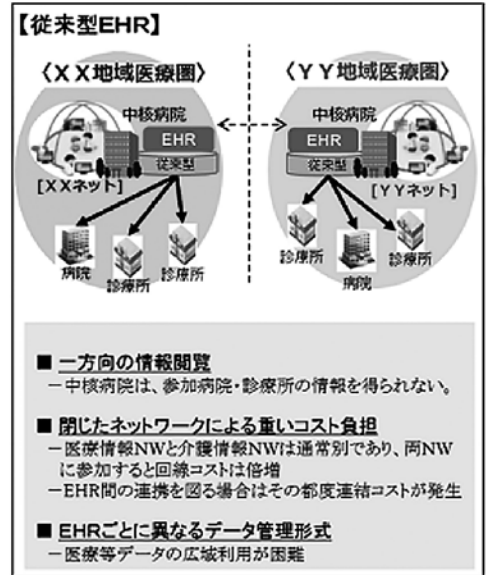
①危険箇所等看板設置
②県境までの距離表示板
町長 ①県は、安全対策のため、待避所を増やす詳細設計に入っており、用地取得が完了すれば順次、工事着手予定であり、「待避所、この次200m」看板を12箇所設置し

設置
③携帯電話不通解消対策が必要であると思うが
④観光面で香美町側の看板設置がないがどうするの

ています。
②現在、簡易距離表示板を永久表示板に交換すると聞いています。
③民間携帯電話事業者に要望します。
④観光看板設置については関係者と協議します。



この店が無くなったら



ICT連携イメージ（総務省）

医療介護連携に対するICT導入を 検討について知恵をお借りしたいです



吉川 康治 議員

町長は誤解をされている点がある。なぜ国が、へき地医療にICTを活

用推進しているかという
と、医師の偏在化や医療
従事者の不足を補うため
である。今回、薬機法も
改正となったが、その改
正も国からのICT活用
の強いメッセージである。
人が足りないからこそ、
それを補うのがICTで
あり、人の仕事を奪うの

ではなく、人がやってい
て足りない部分を補うも
のがICTである。それ
を踏まえて、町長の考え
を今一度伺う

町長 問題意識は議員
と共有するものがありま
す。香美町として今の体
制で足りていないことが

法令改正によってできる
ようになりました。それ
を現行の香美町の中でど
う活かしていくのかはこ
れから内部でしっかりと
検討させていただきます。
今後も香美町の健康介
護の分野で足らざる部分
について議会の場で指摘
いただければ、担当課の
職員も含めて様々な角度
から検討していきます。

消費税増税、営業もくらしも壊すが 社会動向に合わせて対応します



山本 賢司 議員

消費税10%への増税か
ら2ヶ月半、複数税率、

プレミアム付商品券、ポ
イント還元、4年後のイ
ンボイス制導入などと、
事務負担増と地域の実情
に合わないキャッシュレ

ス化を進めると言う。

実情をどう見ているか
地域の営業が壊され、住
民のくらしを破壊するこ
とになる。今やるべきは、
消費税5%への減税と全
国一律の最低賃金制度確
立である

町長 幼児教育保育の
無償化、高等教育の無償
化など全世代型社会保障
への転換を図る消費税増
税です。

低所得者、子育て世帯
へのプレミアム付商品券
登録は135店、ポイン
ト還元は160店です。
いずれも国策であり、推
進します。消費税は、現
役世代の負担増の中、大
切な財源であり、北欧な
ど幸福度の高い国では、
20数%の税率です。
全国一律の最低賃金は
働く者の底上げ、地域活
性化も考えられますが、
事業者の負担もあります。



新聞報道

香美町は自前で公立病院を持ち、組合立の病院にも加盟している特殊な



小谷 康仁 議員

報道された地域医療構想について 唐突な公表に戸惑いを禁じ得ません

自治体である。①地域医療構想が住民に周知されていないが、これまでの経過と現在の動向はどうか②香美町の二病院が新聞報道されたことについてどう思うか③今後の体制は整っているのか④これからは、但馬圏域で新たな医療体制を築く仕組

づくりが必要なのは⑤香美町の医療体制の特殊性から、独自に特別委員会の設置が必要なのは

りに唐突な公表に戸惑いを禁じ得ません③調整会議で、具体的対応方針の議論がされると認識しています④町民のみなさまが、安心して暮らせる医療体制を堅持すべきです⑤町民の皆様方のご意見も聞き、議会でも意見の提言をまとめて頂ければ町としても対応させて頂きます。



佐津小学校の学校訪問



上田 勝幸 議員

新聞で東須磨小学校で起きた問題をみて大変なショックを受けた。内容の一部は、学校では中堅である30代・40代の教師4名が20代の教師4名に対し、個別に暴力、

暴言、嫌がらせなど繰り返していた問題。その教師たちが子どもに「反抗しなかつて学級潰したれ」と言っていたなど普通の常識では考えられない言行の数々、想像の域を越えている。人にはそれぞれ人格があり、個人の尊厳、人権は最大限守られるべきだ。それを無視し、人を人と思わず、虫けらのごとく扱う人、これが教育者

として教壇に立ち、生徒を指導する教師かと思うと空恐ろしい気持ちでいっぱいだ。香美町の教育現場、そのような事案はないか

東須磨小の問題・香美町の現場は 教委と各学校間の連携は密です

教育長 香美町では教育委員会と各学校間の連携は密で、問題は起きていませんし、教職員が相互に尊重され、信頼感にあふれる職場環境づくりに努めています。



香住の観光拠点をつぶしてはなりません



建設中の「ディライト香住山手」

重度障害者グループホーム開設は 県との調整や人材確保に支援します



徳田喜代子 議員

家族の高齢化に伴い、
重度障害者も入居できる
障害者グループホームの

開設が永年の懸案であつたが、令和2年4月の開設に向け建設が進んでいる。次の項目について町長の所見を伺う。①本町の障害者グループホームの現状と新施設の規模②町の支援と今後の取組み

町長 ①定員5名の軽度障害者が入居できる施設は香住区内に3か所ありますが、満所状況で待機者がいます。重度の方が入居できる施設はなく、整備を検討していました。が、事業者も決まり、国県の補助申請も終え内示も頂き、入所定員10名、短期入所2名の規模です。

②県との調整など開設に向けて支援を行います。人材確保には、障害者介護職員等の処遇改善を実施する事業者へ助成金を交付する障害者介護職員確保対策事業を検討する等、入居された障害者の方が引き続きサービスを受けられるよう町財政の許す範囲で支援します。

公社の存続と国民宿舎の営業継続に全力を！ 解散・営業停止の公社決定を尊重します



谷口 眞治 議員

「ファミリーイン今子浦」の令和2年1月末の営業終了・香住観光公社の解散について、議会への説明は遅く、12月4日の全員協議会だった。以下、町長の所見を問う。

①公社の解散・国民宿舎営業中止の原因は。
②町はどんな対応したか。
③公社の実績と評価は。
④議会説明が遅いが。
⑤営業継続に全力尽くせ。

町長 ①直接の原因は、公社の経営悪化のための運転資金の枯渇です。
②町の増資や更なる公金投入は、町にとっても公社にとっても止め時を見失う恐れがあり、

町民の理解が得られないので、積極的な資金提供はこないません。
③観光、住民福祉、地域経済の成果がありました。
④予算権・提案権は町長にあり、国民宿舎の運営経費を議会に相談することはしません。
⑤営業をのぞむ声が大きいいことは十分承知しており、期待にそえるよう注力していきます。



ヘルプマーク利用者

2018年に兵庫県が導入し香美町も同時採用されたヘルプマーク、へ



西谷 高弘 議員

ヘルプマーク、カードの認識は 周知に取り組んでいきます

ルプカード交付について、「配慮が必要な人のためのマークです」と詳しく掲載があり早い対応に感謝した。ヘルプマーク、ヘルプカードの対象者は例えば内部障害の人、または妊娠初期の人など、外見ではわかりにくい人が、周りに配慮を必要

ことを知らせることで援助を得やすくするためのものだ。現在何人が利用されているか、また町民の方への周知や認識は

町長 本町の利用者数は申請により把握しておりヘルプマークが32名、ヘルプカードが31名で交付は一人一個一枚で両方交付することも可能です。町民への周知については町広報への掲載、町ホームページや福祉課作成の障害福祉のしおりへの掲載、申請窓口は本庁福祉課と各地域局健康福祉係となります。全国的にも知名度は依然低い状況で、引き続き周知に取り組んでまいります。



早期に津波防災を



森浦 繁 議員

津波災害の早期対策を！ 兵庫県と連携して対策を行います

兵庫県が平成31年3月に策定した日本海津波防災インフラ整備計画に基づき、県が管理する漁港施設及び道路、河川の津波対策を行うとあるが、①兵庫県は、香美町にお

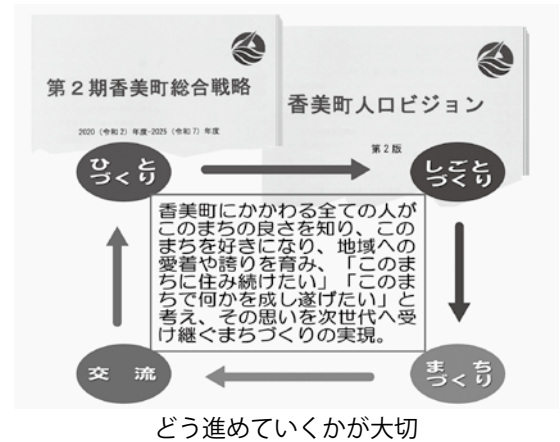
町長 ①香美町における津波対策としては、無南垣区で防潮堤の新設及

②香美町は、県の津波対策と連携して、香美町が管理する普通河川や道路の津波対策を計画的に行うとともに、町単独の津波対策を行うとあるが、町の具体的な計画を伺う

びかさ上げ、陸間の電動化、浦上区では防潮堤の洗掘防止、沖浦区では防潮堤の整備、香住漁港の防波堤の沈下対策、香住谷川の堤防のかさ上げ、下浜区では防潮堤のかさ上げ、余部区では長谷川の堤防のかさ上げが計画されています。②兵庫県と連携して対策を行う箇所として、余部区、下浜区、浦上区の3カ所があります。

一般質問 その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
西坂 秀美	・公立、公的病院の再編、統合にどう取り組むのか ・本年の評価と次年度の新たな政策は
東垣 典雄	・第2期香美町総合戦略について問う
見塚 修	このまちに住むことに誇りをもち、より豊かな住みよいまちづくりを求めて (Part11) ・緊急課題編 1 ファミリーイン今子浦の営業 (2) 学校統合 (3) 職員採用の対応策について問う ・安心・安全編 - 自動車自動運転や安全運転確保のための道路整備について問う
藤井 昌彦	・香美町国民宿舎事業【ファミリーイン今子浦】の指定管理を受けている香住観光公社が、令和2年に解散すると聞いた。町としての捉えと今後の考えを問う
西谷 尚	・移住・定住サポート事業について問う ・地域づくり団体全国協議会について問う
山本 賢司	・合併して15年、この先、圏域行政に向かうのか？
上田 勝幸	・来年4月から始まる地方自治体で働く非正規公務員の「会計年度任用職員」制度について
小谷 康仁	・役場職員の人事評価について問う
徳田喜代子	・病院の再編・統合化について ・レジ袋の有料化について
谷口 眞治	・安心・安全のまちづくりについて、町長の所見を問う ・香住区若松地区大火災の対応について、町長の所見を問う
西谷 高弘	・交通安全対策について問う ・学校施設の整備について問う ・児童相談窓口について問う



第1期香美町総合戦略が本年度をもって終了し、第2期香美町総合戦略が



田野 公大 議員

町民や産官学金労言士など各種団体との連携と参加をどのように考えて

新たに策定された。実施体制を見直し強化すべきと思うが、考えを問う。取り組み体制について、第1期の反省のもと、強化または見直しはあるのか。

町長 総合戦略の推進体制を強化充実させるため、事業評価に対する検証や新たな取り組みの検証を行う職員により構成するプロジェクトチームを設置し、戦略的な推進を行うとともに、国や県

総合戦略実行に向けての体制は
プロジェクトチームを設置します

から提供される各種データを活用し、地域が直面する状況や本町の目指すべき方向を見極めながら、必要な改定も行います。各種団体との連携は、これまで同様、地域金融機関等をはじめとした各種団体と必要な連携を図りながら推進します。

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ表示しています。

議案名	議員名	東垣	谷口	上田	小谷	西谷	見塚	田野	岸本	山本	吉川	西坂	西谷	藤井	徳田	森浦	西川
		典雄	眞治	勝幸	康仁	尚	修	公大	正人	賢司	康治	秀美	高弘	昌彦	喜代子	繁	誠一
議案第101号	矢田川クリーンセンター解体撤去工事の請負契約を締結することについて	×								×						×	—
議案第107号	香美町公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×								×						×	—
議案第108号	香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×								×						×	—
議案第109号	香美町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×								×						×	—
議案第112号	令和元年度香美町一般会計補正予算（第6号）	×								×						×	—
議案第115号	令和元年度香美町国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）	×	×				×			×	×	×			×	×	—
発議第5号	国の病床削減・「再編統合」の再検討を促す動きを取りやめ、病院を安定的に運営できる医療政策を求める請願について	×				×		×	×		×		×	×	×		—
意見書4号	「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の堅持を求める意見書（案）継続審査							×	×					×	×		—

空白…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。

視察研修報告

住みよい地域づくりと子育て支援の充実を！

総務民生常任委員会

委員長 東垣 典雄

産・子育ての切れ目ない支援の施策を充実することが喫緊の課題です。

このような課題を先進地に学び考察するため地域自治組織を概ね小学校区域で結成し積極的に活動されている島根県雲南市、子育て支援プランを30事業に及ぶ施策で取り組んでいる岡山県美咲町の視察研修を行いました。

島根県雲南市 集落機能を補完する新たな自主組織の確立を

こどもたちは町の宝であり子育て支援はまちづくりと30もの事業・施策で支援している岡山県美咲町の令和元年度予算は、一般会計約93億円の内、10%近い9億円の予算で支援をしています。さまざまになんとなくの支援でみなさんの「しあわせ」につながるようにと子育て支援を第一ととらえての施策には驚きを感じました。

視察研修を終えて

人口減少は、地域崩壊の危機ととらえ新たな地域モデルの結成と地域自治組織の積極的な展開を図ること、また子育て支援の充実の必要性を強く感じる研修でした。

先進地の自治体においては、さまざまな施策で課題解決を目指しています。

このことを学び本町の課題にどう取り組むか、しっかりと町へ提言します。

人口減少と少子高齢化により地域の活力の減退に直面している本町において、新しいコミュニティづくりによる地域の活性化への取り組みが重要な課題です。
また、結婚・妊娠・出



美咲町にて研修

岡山県美咲町 ちよつとずつの支援でみんなのしあわせを

地域の活力へ攻めの農林水産業へ 世羅町の6次産業化の取組に学ぶ

産業建設文教常任委員会

委員長 西谷 尚

研修の目的

香美町の農業漁業においては、一級品の素材はあるが一次産業の段階で完結しており2次3次産業への広がりが見えない。また、農業については、田畑の維持が難しく荒廃農地の拡大が進んでいる。漁業についても、後継者不足・価格の低迷・水産業維持に関しても先が見えない。

今まで農林水産課が、6次産業化取組に頑張ってきたが、現在は観光商工課が取り組んでいる。担当課取組の方向性が見えない。

これらの課題解決については、本町のさらなる6次産業の取組が重要と捉え、視察研修をおこなった。

広島県世羅町の課題と取組

水田と葉たばこ中心の農業であったが、国の政策及び、天災により葉たばこが壊滅的被害にあう。多くの農家が離散の状況に陥った。この事が後に、水田中心から畑を中心とした観光農業への転換のキッカケとなった。

国営の農地開発事業に21年ついやし、357畝の世羅台地を切り開き19団地38の農園が入植。果樹を中心に取り組むが、入植者には造成の負担金・水田農家には高齢化・担い手不足等の課題があった。

県の農業普及センター・JA広島県・世羅旧3町と6次産業推進協議会を立ち上げ、地域単位の

農家に集落営農法人化を根気よく説明し、農業法人として取り組ませた。

これらの法人をグループ化し、農作物の改良・機械化・観光農園の取組等、世羅6次産業ネットワーク組織として発展させた。現在、世羅夢公園（観光農園）入り込み数200万人。入場料売上1億円。3つの産直所を持ち約6億円もの売上を上げる。

まとめ

ネットワークを構築すること、農業生産者の各事業の取り組みの弱点を解消し、6次化の取り組みがスムーズに移行できている。

世羅高原6次産業ネットワークは、各農家が地

域単位・農業生産品目ごとの連携の中で農業法人グループネットワーク会員として参画している。

説明を戴いた理事長の言葉が心に刺さる。

「考えるより行動することが大事」「女性の力が大きな推進力となる。元気な女性がいてこそ、元気な取組が出来る」「農業法人のメリットを最大限に活かすこと。補助金を最大限に活かすことは大事なこと」「私の子どもはみんな帰って来て畜産を手伝ってくれている。子どもにとって、魅力を感じる農業経営であることが大事である」



元気・やる気の取り組みが大切

議会だよりは「議会と町民との架け橋」に

広報公聴常任委員会

委員長 徳田 喜代子

全国的に高い評価を受けている大阪府岬町と兵庫県多可町の視察研修を行いました。

大阪府岬町

平成30年度全国町村議会広報コンクールの企画構成部門で奨励賞を受賞されています。

議会広報づくりの要点

- ①インパクトのある表紙
- ②文字は短く、写真やイラストを多用
- ③住民が登場する記事

「被写体の思いを届けたい。表現したいことが写真一枚で伝わるように撮れたら最高だ！」と語る熱心な写真担当委員の存在があり、表紙の印象を変え、注目されることになったと感じました。

視察研修を終えて

研修で学んだ優れた点はスピード感をもって取り入れるべきと考え、写真担当委員制度は前号より採用するとともに、来年度の議会だよりから2色刷りとする検討を始めています。

兵庫県多可町

同じく表紙写真で銀賞を受賞、3年前も同賞を

ほのくにいきいき

(村岡区)

今回は、村岡区和田で「フルール・みかた」を運営しているNPO法人代表の日向智子さんにお話を伺いました。



日向 智子さん

わせて、障害児の放課後支援をするために、27年3月にNPO法人格を取得しました。

「NPO法人としての会の目的は

美方郡内に居住又は通学通勤する障害者とその家族、乳幼児や高齢者など、福祉を必要とされる人々に対して、日常生活や社会参画を支援する。障害の正しい理解と支援のあり方、障害の有無に係わらず、共に生活できる地域社会作りを目指しています。

「現在は主にどのような活動をされていますか

現在メインになっている事業は「フルール・みかた」です。平成27年4月に「香美町障害児支援体制整備事業」としてスタートし、

平成28年10月から放課後等デイサービス事業所になりました。兵庫県の指定を受けた福祉サービス事業所です。小学校1年生から高校3年生まで利用できます。利用定員は10名で、放課後と長期休業日の一日(9時から17時まで)利用できます。施設では、健康管理、安心安全な居場所の提供



スタッフの皆さま

を前提に、個別支援計画に則った発達支援を行っています。学校で一生懸命勉強して来所するので、ホッとする空間でもありたいと思っています。

「これからの目標は

法人の目的や理念が高すぎて、なかなか思うように活動できませんが、障害があってもなくても「その人らしく生き抜く」温かい香美町になるために、できることを少しずつでも続けたいと思います。幸いにもスタッフに恵まれ今日に至っていますが、NPOの会員を含め、事業を支えてくれる仲間が増えることを切に願っています。

「行政に望むことはありますか

障害が多様化していく中、少数で活動している障害児・障害者個々のグループを繋いだり支援したり、障害児・障害者の実態を町民に広く知ってもらう取り組みを進めてほしいです。



また、子育てや高齢者の支援の必要性・方法・公的支援のメニューなど情報がほしいです。

「議会に一言お願いします

日々、町民のために活動していただき、ありがとうございます。町全体もですが、小さな声にも耳を傾けていただきたいです。

編集後記

新年を迎え、町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

令和2年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本選手の活躍を楽しみにされている町民の皆さまも多いのではないかと思います。われわれ広報公聴常任委員会もさらに元気に町民の皆さまに愛され、手にとり読んで頂ける広報紙作りに研鑽を積んで参りたいと思います。

本年が町民の皆さまにとりまして、平穏で幸せ多き年となりますようにご祈念申し上げます。

(T)

広報公聴常任委員会

委員長 徳田喜代子
副委員長 谷口 眞治
委員 田野 公大
岸本 正人
西坂 秀美
西谷 高弘
藤井 昌彦